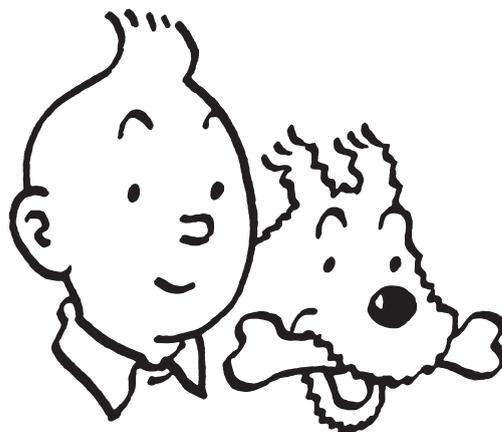


「タンタンの冒険」シリーズは、1929年コミック作家のエルジェによってベルギーで誕生しました。未完の作品を含めた24話の物語は半世紀以上たった今でも、50カ国もの言語に翻訳され、世界中の人々に愛され続けています。

スティーブン・スピルバーグ、ピーター・ジャクソン両監督による映画3部作の初回作「タンタンの冒険：ユニコーン号の秘密」の公開が2011年12月1日に予定されています。



HERGÉ LES AVENTURES DE TINTIN

© HERGÉ / MOULINSART

エルジェ(本名：ジョルジュ・レミ)1907-1983



ブリュッセル生まれ。少年時代はボーイ・スカウトに傾倒し、その頃よりドローイングを開始するが1923年より本格的に「ベルギー・ボーイスカウト」誌に作品を発表しはじめる。1928年に新聞の若者向けウィークリー増刊号「プチ20世紀」のチーフ・エディターとなり1929年には自作の「タンタン、ソビエトへ」が同紙に掲載。またたく間に人々の人気を博した。それ以後、タンタンとスノーウィをコンゴ、アメリカ、中国、はたまた月まで送り続け、世界中を駆け巡る24話のタンタン冒険シリーズを我々に残している。バンドデシネの父と称される彼の作品は、今日においても様々なアーティストに影響を与え続けている。